■昭和33年4月22日第三種郵便物認可 ■毎月3回1日・10日・20日発行■定価1部5円

■編集人 総務課長 森 辰 男 ■印刷所 合同印刷所 発行所 大村市役所

(10月末現在) 前月比 56,438 27,266 女 29,172 世帯数27,266 (+41)出生 51 転入 359 死亡 25 転出 290



"みんながそろって明るい正月を"をあいことばとして、歳末たすけあい運動 が12月1日から25日まで行なわれます。

この運動は、地域住民総参加の社会福祉活動として義援金の持ちよりを行なう ものです。

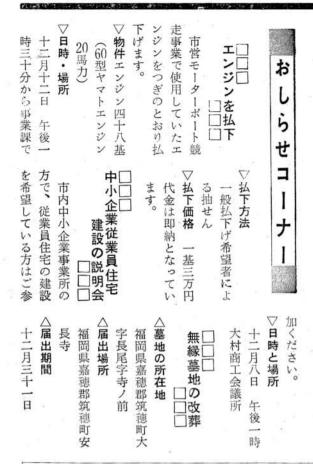
各家庭には、町総代の方を通じてルたすけあい袋を配ばり、12月11日には中央 公民舘で、歳末たすけあい // 踊りの会も催されます。ご協力ください。

私たちは"人権週間"

して行動しているといるでしょうか。 私たちが、社会の一 として協同生活をし、 存共栄をはかるには個 みを唱えて義務を履行し視したり、自分の権利の権利の なりません。 考え方で物事をらず、個人的な物 それ れなけ 個 もれ人

果して憲法の精神を尊重れ十九年たっていますが れ十九年たっていますがたちます。我が国の憲法 言が採たくされて十八年国連総会で世界人権宣 毎年十二月四日

(ことをとじてください)

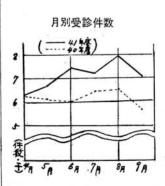


病気やけがをしないよう

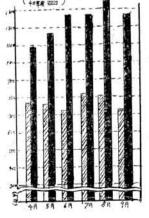
医療給付費・受診数が急上昇・

国民健康保険事業は市民が明るく健康な生活をおくる ために大きな役割りをはたしていますが、支出の大部分 を占める医療給付費はグラフのように本年度にはいり大 きな上昇をみせています。とくに受診件数の増加は十分 国保が利用されていることを意味しますが、病気やけが が多いともいえます。病気やけがをしないように日常の 心がけが必要です。

また保険税は忘れずに 納期内に納めてください。



医療給付費月別支払状況



プロパンガスの防災

-取り扱いの注意-

近年、プロパンガスは家庭用燃料としてばかり でなく養鶏養豚の保温用、温室の暖房用などに広 く用いられるようになりました。

プロパンガスは誰にでも手軽るに使へるため取 り扱い方がつい無神経になり、思わぬ事故を起す おそれがあります。中毒、爆発事故をなくすため つぎのことに注意しましょう。

▶ゴム管のキズを調べガス洩れに注意しましょう ▶マッチを焰口に近ずけてからコックを開いて点 火しましょう。▶烙が赤色だったり、ゴーという 音をたてるときは不完全燃焼です。空気孔の調節 をしましょう。▶風の吹き込みで焰が消されぬよ うに。もしガスが部屋に充満したら換気した後点 火しましょう。▶使用後は必らず元栓をしめまし ょう。

まちを清く美しく

— あき地などにごみを捨てないように —

最近、市内のあちこちの空地や川にごみが捨て てあるのを見受けます。衛生課でも、できるだけ 取り除いてはおりますが、なかなか全部取りきれ ません。河川などにごみをすてることは、清掃法 でも禁止されていることです。ごみの推積ははえ の発生源となり町の美観もそこない、周辺の人々 に迷惑を及ぼすこととなります。

ごみの処理に困っている方は、必らず衛生課ま で申し出てください。

冬でも赤痢は発生します

---手洗いを実行しょう

市内での赤痢の発生状況は1月から10月までで 真性78名保菌者177名で合計すると255名となって います。これは昨年の保菌者を含めての12名に比 べると非常な増え方といへます。

赤痢は各人のちよっとした不注意でかかるとい われます。冬でも赤痢は発生しています。夏と同 じ考へ方で赤痢予防につとめましょう。

- ①たべものは清潔で新しいものを用いる。
- ②冷めたくても必ず手を洗う。
- ③暴飲暴食をさけ、体の健康を保ち、抵抗力を つける。
- ④はえやごきぶりなどの衛生害虫はいまが駆除 に一番いい時です。

薬剤を使って駆除しましょう。

成績を示した納税組合の

くらしのめも

(百九十一

世帯)と優良な

期

内に完納

た

世

带 を

康であって

保険税

大村市政だよ

いらない犬はこの箱に-

野犬が多くて困っ ています。12月14日 に西大村出張所に不 用犬の引取り箱をお きますので、飼育し ない犬は野放ししな いで、この箱に入れ てください。なお、 不用犬をこの箱に入 れる時は出張所に申 し出てください。



十九日まで

△縦覧場所

举管理委員会事務局

(市役所内)

十二月五日から十二月

ください。

布もありますのでご相

△縱覧期間

強化の

ための牛乳無料

配

重の

少

い乳児には

栄養

数は六十点でそのうちカ がきまりました。 ラーが十点ありました。 準特せ 入賞者 産業祭写真 コンテスト せ 囲 (敬称略) テストの入賞者 とした写真コン た第五回 行事をテーマ 十月に 倉田輝 熊本 飯野健二 本橋正虎 倉田輝茂 応募点 産業祭 行 満

十二月四日

から十日

ま

と共催してつぎの行事 で行なわれる人権週間 行ないます。 行事として、 大村人権擁護委員協議会 法務局では 0

元 本橋正虎 飯野健二 ノ瀬成海 せ 2 (カラー) 長山 倉田輝茂 口 勝 仁 英

午前

十時~

午後三時

所

萱瀬出張

H

時

十二月五日

人権相談

座談 日 時 会

4/

談会と人権

-人権週間の行事--相談所

午後 所 7 十二月 時~午後三時 鈴田出張所 九

※業調 名簿の従れる 老人の人権」 1

配松本

フ

庒

Щ 松

口伊太郎 尾

に供します。 挙人名簿を関係人の縦 区漁業調整委員会委員選 整した長崎県南部 年の十月十五日現 海 在

+ 二月 の 母子 検

診

堺町 古町 乾馬場 上小路 前舟津 東浦 五カ年健 六区今 泉 役 楠 中 康者家庭 御 古賀勝五 風林清太郎 本 Ш 厨 + 君 福 雄 ス 江 郎

役所大会議室で行ないま 表彰式を十一月十八日市

実施日 場 所 時 間 12日 9.00-12.00 今村公民館 12日 1.30~ 4.00 三浦診療所 9.30~ 3.30 13日 鈴田出張所 9.30~ 3.30 14日 竹松出張所 19日 9.30~ 3.30 松原出張所 20日 福重出張所 9.30~ 3.30 9.00~12.00 21日 黒木小学校

優健

康

世一帯

良納税組

台

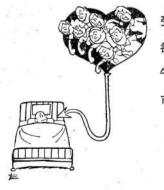
を

表

厂彰

愛の血液たすけあい

みんなの、きれいな血を………



受付 毎週金曜 午後1時 市立病院

■冬休み

家事を分担させる 受験生に心づかい

20日ごろになると小学 校、中学校、高等学校は 大半冬休みにはいります 年越しからお正月へと、 こどもにはたのしい冬休 みです。しかし暮れのせ まったご家庭では、こど もをほっておかれがちで

そこで、こどもにも家庭

の一部を分担させてお手 伝をさせるようにしまし ょう。受験生のいる家庭 ではいろいろの気苦労が 多いことですがこんは時 は気分転換にお使いなど をたのんだり戸外の掃除 などをまかせたりすると かへって気が落ちつくも のです。

帳

長野

田崎

中村

中央

毛利

日曜

渡

軍人、 準軍人、 市 民 手 旧 軍 軍 *日曜当番医 *(12月中)

日】

口内科

【18日】

辺外科 【25日】

婦人科

内科

内婦人科

本郷内科

佐藤内科

南野内科

朝長内婦人科

海浜内科

藤井内科

上田内科

日でも急患の場合は診療

なお、公立病院は、

いたします。

今田内科

長崎内科

思 給 0 改

善

おりました。 算されないことになって たが、 ては恩給などの年限に通 以前までは七年未満の切 恩給及び扶助料は、 一十八年に復活されまし 切れの実在職年につい 昭和三十五年七月 昭和 属

年以上の場合はこれを なり、 しかしこの制度が解除 再在職を合計し

は早めに保険年金課へお ませんので未請求のか でにしなければ認められ 8 いで下さい。 っております。 受給権を与えることにな ら恩給年額を改定し又は 四十二年六月三十日ま 算し三十五年七月分 この届出

ご持参下さ 給証書をお持ちのかたは なお通算しない分の恩 ません。 なお、

たので訂正します。 国民年金保険料 の改正

は亡夫健児さんの忌明に

竹松郷の猪股良子さん

忌□ 明□

に

一寄

□付

んは亡父勇作さんの忌明

また、

竹松郷の一

瀬茂さ

に金一

封を社会福祉事業

資金として寄付されまし

国民年金だより 国民年金に

金に加入しなければなり 四年四月一日以前生れの 人を除く) 才未満(ただし明治四十 いない二十才以上六十 職場の年金制度に入っ ならない人 入らなければ の人は国民年

市政だよりの〃老後をし の人を除く) 十年四月一日以前生まれ あわせに# 0) (ただし、 十一月二十日号 (国民年金解 は誤りで 明治四 570)

(22)

キリシタン信者

天正十五年 (1.587年) 七 キリスト教と大村藩③ すめもあり教会を焼却し ので、 加藤清正公等のす 原 六百八人検挙され 0

権の町になった、 がポルトガル人の治外法 発令し、宣教師等の国外 突然キリスト教の禁止を 鎮圧の帰途福岡県箱崎で ガル人などが日本人を奴 る迫害、長崎、茂木など 等の破かい、僧呂に対す リスト教信者による社寺 追放を命じた。これはキ 月豊臣秀吉は九州島津藩 隷としてインド方面に売 ポルト り郡 た。 兵作がもらした流言によ 二十二代純長公の時大村 月玖島城で死亡し時に四 その跡に本経寺を建立し 657年)に郡村矢次の百姓 藩で重大事件がぼっ発し は元和二年(1,616年)八 仏教に改宗した。 十八才であった。 村 それは明暦三年 (竹松、 福重、 喜前公 その後 これを郡崩という。 他の者は牢死、 られた者は大村の外、 六十四人佐賀で三十七人 大村(放虎原)で百三十 れている。 斬罪に処せられた。 島原で五十六人、平戸で あずけられ翌年明暦四年 (1,658年) 七月二十七日 人、長崎で百二十三人 赦免れされたと 島原、 平戸、佐賀に 或いは

それたためである。 買した、日本が植民地化 ト禁止がきびしくなった をドン・サンチエスと称 大村藩主十九代喜前公の するのではないか、 たが朝鮮の役後キリス に洗礼を受け教名 公は元亀元年 をお きびしくなった時、

時で、

とおり変ります。 国民年金保険料が 和四十二年一月から つぎの

(現行)

20才~34才=100円 35才~60才=150円

20才~34才=200 35才~60才=250円 改正 円

たてにおこしたといわれる。

写真=福重今富郷にあるキリシタン墓碑。